

さまざまな分野で“がんばる”長崎市民をご紹介します!!

ながさきメーカー

長崎 maker

今月のmaker 有限会社 イーズワークス
代表取締役 糸屋 悦子 さん

昨年、日本タウン誌・フリーペーパー大賞2016で、最高賞である大賞を受賞した季刊誌の「らく(楽)」。今回は、この季刊誌を発行している有限会社イーズワークスの代表、糸屋さんをご紹介します。



「さらに質の高い情報誌を」という強い思いが集まった編集会議は、毎回意見が飛び交い、白熱するそうです(糸屋さんは右から2人目)



受賞した30号

以前から、長崎の歴史や自然、文化に興味があり、もっと多くの人に知ってもらいたいと思っていた糸屋さん。しかし自分が思い描くような、長崎の魅力を発信する大人向けで質の高い雑誌が、長崎には無いと感じていたそうです。そんな思いが強くなり、「無いなら、作ればいいじゃない!」と作ったのが、県

内の地域に密着した情報を伝える季刊誌「らく(楽)」。

糸屋さんの「作りたい」という思いは周りを巻き込み平成20年に創刊し、今年10年目。現在、編集者やライター、カメラマンなど約20人の地元のクリエイターが制作に関わっています。

今回、日本の数あるタウン誌の受賞はやる気につながります中で大賞を受賞したことは、「『地方のタウン誌だから質の高いものはできない』と思っている人の概念を打ち破ることが出来たのでは」と話します。

これからも、地元長崎の魅力を伝えてください!!



「ナガジン」や「ながさきゾーン!」も

現在、長崎市が発行しているWebマガジン「ナガジン」や書籍の「ながさきゾーン!(定価150円)」についても編集に携わっていただいています。



働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

はたらきびと 輝く働き人



株式会社 長崎ケーブルメディア
平山 穂乃香 さん

長崎市内を中心に、ケーブルテレビ、インターネット、電話などの通信インフラに係る事業を展開しています。平山さんは入社3年目。番組の制作に携わっています。



Q1. この会社に就職した理由は?

以前から、ものごとを人に伝えることに興味があり、高校では放送部に所属していました。大学在学中、映像制作サークルで活動しながらここでアルバイトするうちに、映像制作を仕事にしたいと考えるようになったからです。

Q2. どんな業務を担当していますか?

情報番組「なんでんカフェ」内で、長崎に生息している生きものの生態と、それを取り巻く自然を紹介するコーナー「かえる先生の授業」の制作を担当しています。未知の世界を、目の当たりにできる楽しみがあります。

Q3. 仕事上で特に大変なことは?



被写体を追う目は真剣

取材日程などの調整から、台本書き、現場でのレポート、撮影、編集などといった、番組制作に係る工程をすべて自分でする場合もあって、現場では慌ただしくなることもあります。

ただ、分業制では積むことができないさまざまな経験はきっと、制作者としての強みになると思います。

Q4. 今後やってみたいことや、目標はありますか?

例えばイベントの裏側とか、お店が新規開店に至るまでを密着取材し、がんばっている人たちの姿を追うようなドキュメンタリーを撮ってみたいですね。

ケーブルテレビは、視聴エリアが地上波に比べて狭い分だけ地域密着度が高いので、地上波の他局が取り上げないような狭く深いテーマに、じっくり取り組めると思います。

フットワークの軽さを活かして、みなさんの心に響くような番組を作り続けていきたいです。



「なんでんカフェ」のダイジェスト版は、4月から地上波(NBC)でも放送中!